

# 看護師がアーティストと二刀流になる話②

## 個展のテーマは 私たちの可能性



「コロナ禍ですっかり元気がなくなつた」からこそ、率先垂範（そつせんすいはん）、自らが行動することで、「私たちの可能性を示したい」とカナダで個展を開くことを決意した池見陽子さん。その行動力はハンパではない

こんにちは、こんばんは。またはおはようございます。天地成行（てんち・なりゆき）です。みなさんお元気ですか？ 啓塾（けいちつ）が過ぎ、ウグイスが鳴き始めてきた山口県です。もうすぐ桜も開花となつていく季節ですね。卒業シーズン。別れがあり、そしてまた新たな出会いがやってきました。最近親戚が鬼籍（きせき）に入られました。その時の話を少し。そのおじさんは、親戚にはのんべえのイメージが強かったのです。最期はガンでした。棺をみたときウワツと。この世の修行すべてを終えられた尊き修行僧が目を閉じていて、そのおじさんとはまったく思はず感嘆しました。合掌。一面は池見陽子さん。二面は写真で大喜利コーナー。

2023年5月にカナダで個展を開いた私。まず何よりテーマを決めました。それは『私たちの可能性〜OUR POSSIBILITIES〜』。これまでの看護師での経験、コーチングやメンタルヘルスについて看護師の卵たちを中心に指導してきましたが、世の中には「年齢や立場や学歴など、気にしてやりたいことを諦めて生きている人が、私の思うよりずっと多い」と感じました。一度の失敗で夢を諦めてしまう人も多く、残念でなりません。

でも、中には自分の可能性を信じ続ける人もいます。何度も試験にチャレンジし続けている私の可愛い教え子も。みんな、自分にしかない可能性の種を持っていきますよね。芽が出るかどうか、それは自分次第。そういう人たちは積極的に励ましてきました。うまくいったことも、うまくいかなかったことも経験しました。

また、自分から一歩踏み出す勇気がなくても、環境が変われば花が開くことも。

「私たちは、誰でも可能性を持っている。自分にしかない可能性がある。何歳になつても、みんな可能性がある！ みんなの可能性を応援したい！」

コロナですっかり元気がなくなつたこの時に、何か自分にできることはないかと考えた末、カナダへ挑戦することに決めました。日本で一度も個展をやったことがないのに、一体ナニを考えてるんだか、と自分でも思いますが（笑）。それこそ、まだ見ぬ自分の可能性を信じたい……。

この無謀な挑戦譚、続きは、また次回。なぜカナダかって？ あつ、そこはきつちり次回でお話しましょうね。（池見陽子）※随時掲載

池見さんのブログは、<https://note.com/yokocanada>

街角写真でなんちゃって大喜利  
こんなところにも別れの春  
天地さん「え～ん煙(泣)」

喫煙ルームをご利用のお客さまへ

2024年3月16日から  
車内でお煙草は  
お吸いいただけません。

Smoking rooms aboard trains will be  
discontinued from March 16th, 2024.

駅設置の喫煙所を  
ご利用ください。

Please use a smoking area in stations.

みんつど  
第43号

お便り・雑談

みなさんからの励ましのメール  
待ってます (よくくじけます)

tenchi2020@outlook.jp (みんつど編集部アドレス)